

氏名	嵩末 憲子	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	ソーシャルケア・ライフモデル・専門職連携				
学位	修士（社会福祉学）				
学歴	1988年3月熊本大学教育学部特別教科（看護）教員養成課程 卒業、2000年3月日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科 博士前期課程修了、2022年3月国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士課程満了				
経歴	2003年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2012年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本介護福祉学会（査読委員）、日本保健医療福祉連携教育学会（査読委員）、日本社会福祉学会、日本社会福祉教育学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	あたらしいIPWを学ぶ—利用者地域とともに展開する保健医療福祉連携— 第3章第6節「コーディネーション」TOPICS①「IPWの記録—F-SOAIPを例に」	共著	あり	中央法規出版：P288	編）朝日雅也、國澤尚子、田口孝行 分担執筆）秋山恭子他、嵩末憲子（P.62-65、P.72-75）	2022.4	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	F-SOAIPによる好事例の全国横展開に向けて～求められる教育・研究のリーダーシップ～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、33(5)、48-52	小嶋章吾・嵩末憲子 監修 記録革命が未来を拓く 第11回／日本介護支援専門員協会:笠松信幸、介護支援専門員みずから判断を記録することの重要性～思考の言語化とF-SOAIP	2022.4
2	適切なケアマネジメント手法のために期待されるF-SOAIPの各研修課程への導入	共著	なし		月刊ケアマネジメント、33(6)、18-22	小嶋章吾・嵩末憲子 監修 記録革命が未来を拓く／特別企画座談会「記録の標準化をめざして」第1回 実践者が語るF-SOAIPがもたらす多様な効果（笠松信幸、川添チエミ、甲田由美子、関谷喜代美、遠藤喜美子、杉田まどか、福岡博聖、千葉明子、小嶋章吾、嵩末憲子）	2022.5
3	個別課題・地域課題解決に有効なF-SOAIPの政策化を提言	共著	なし		月刊ケアマネジメント、33(7)、25-29	小嶋章吾・嵩末憲子 監修 記録革命が未来を拓く／特別企画座談会「記録の標準化をめざして」第2回 F-SOAIPの普及に向けて意見提言（笠松信幸、川添チエミ、甲田由美子、関谷喜代美、遠藤喜美子、杉田まどか、福岡博聖、千葉明子、小嶋章吾、嵩末憲子）	2022.6
4	多機関多職種協働による認知症ケアのミクロ・メゾ・マクロに資するF-SOAIP～新たなケアやLIFE等の好事例をマクロレベルで展開していくために～	共著	なし		認知症ケア、2022年6月、102-111	嵩末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPによる認知症ケアのイノベーション～多職種からの発信／〔連載第4回〕特別看護老人ホーム 杏樹苑爽風館:酒本隆敬、LIFEとF-SOAIPを活用して多職種協働のPDCAサイクルを促進～アルツハイマー型認知症の進行に対応する栄養サポートチーム～	2022.6

5	重層的支援体制整備事業・適切なケアマネジメント手法展開の基盤に～先駆的自治体からの示唆～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、33(8)、18-22	小嶋章吾・嘉末憲子、監修 記録革命が未来を拓く 第14回／栃木県那珂川町役場;立川正史、重層的支援体制整備事業で発揮されるF-SOAIPの真価～メゾ・マクロレベルでの活用を考える～／品川区福祉部高齢者福祉課;高桑春彦・野口貴生、品川区におけるF-SOAIP導入後のマクロレベルでの多面的展開～適切なケアマネジメント手法や重層的支援体制整備事業などの施策の基盤として～／福井県坂井市健康福祉部福祉総務課;齊藤正晃、地域共生社会実現に向けたF-SOAIPの活用の可能性～自治体でのモデル事業と厚生労働省への出向体験をふまえて～	2022.7
6	解決したい課題こそF-SOAIPでソーシャルアクションを～本誌連載や特集テーマを応援～				月刊ケアマネジメント、33(9)、18-20、22	嘉末憲子・小嶋章吾 監修 記録革命が未来を拓く 最終回	2022.8
7	AI化時代の医療・介護分野におけるリアルデータプラットフォームの構築に向けて～マイクロ・メゾ・マクロレベルのPDCAサイクルを促進するF-SOAIPの活用提案～	共著	なし		メディカル・サイエンス・ダイジェスト、48(8)、46-51	嘉末憲子・小嶋章吾	2022.8
8	介護記録にイノベーションを	共著	なし		カイゴのチカラ、No.125、70-73	嘉末憲子・小嶋章吾 監修 介護記録にイノベーションを1	2022.8
9	介護記録システムへF-SOAIPの搭載を求めて～医療・介護のデータ連携のために～				月刊ケアマネジメント、33(10)、26-30	嘉末憲子・小嶋章吾 監修 意見提言 記録にスタンダードを～F-SOAIPが拓く介護の未来／日本クラウド産業協会(ASPIC):河合輝欣、DX推進のもと多機関多職種連携の情報連携のために F-SOAIPによる介護記録システムの標準化を／アクセンチュア(株):石塚秀俊、利用者中心の介護実践に向けた データヘルス改革とLIFE活用の要点	2022.9
10	DX・地域共生社会時代の記録のイノベーションからF-SOAIP搭載の記録システムをスタンダードに	共著	なし		月刊ケアマネジメント、33(11)、16-20	嘉末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第1回／衆議院議員(元厚生労働大臣):田村憲久、支援過程を可視化できるF-SOAIPデータ活用に期待	2022.10
11	法定研修でも求められる記録技術の習得～「適切なケアマネジメント」のためにF-SOAIP活用を～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、33(12)、30-34	嘉末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第2回／原宿リハビリテーション病院;鈴木孝宗・徳元涼平・鯨岡慶子、医療ソーシャルワーカーによるF-SOAIP導入と実習教育の成果	2022.11

12	F-SOAIP導入後からでも「F-SOAIPワークシート【初回・導入・OJT版】」の活用を～マイクロ・メゾ・マクロレベルでの多面的展開を期待～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(1)、31-35	嘉末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第3回/品川区高齢者福祉課・品川区介護支援専門員連絡協議会:小林美保子・藤井江美、自治体との協働による研修定着 新人、ベテラン、事業所を超えて共通言語に	2022.12
13	F-SOAIPの介護記録システム搭載や政策への期待	共著	なし		カイゴのチカラ、No.126、65-70	嘉末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIP 介護記録にイノベーションを 2/生活クラブ風の村:島田朋子、先進的法人によるF-SOAIPの計画的展開	2022.12
14	ソーシャルワーク教育・介護支援専門員の各種法定研修、さらに記録システムにF-SOAIPの位置づけを	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(2)、28-32	小嶋章吾・嘉末憲子 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第4回/日本ソーシャルワーク教育学校連盟:白澤政和、F-SOAIPを記録技術としてケアマネジャーとソーシャルワーカーの養成教育に/梅崎 薫、社会福祉士の養成課程(演習)と卒後教育にF-SOAIPを導入して	2023.1
15	「標準化」と記録負担軽減へ、ベンダーの力が不可欠	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(3)、31-34	小嶋章吾・嘉末憲子 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第5回/埼玉県福祉部高齢者福祉課:龍前航一郎、対人援助過程における記録の重要性～F-SOAIPのメリット～/埼玉県介護支援専門員協会:千葉道子、F-SOAIPの定着のカギは記録システムに/埼玉県ケアマネジャー協会:杉田まどか、多分野で専門職の質向上に寄与する可能性	2023.2
16	F-SOAIP重要なモデル事業に参画した自治体・現場からの養成～F-SOAIPによるイノベーションに行政とベンダーは英断を	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(4)、36-39	嘉末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第6回/栃木市保健福祉部:首長正博、重層的・伴走型支援の鍵はF-SOAIPによる相談記録の視点の共通化と均一化/特別養護老人ホームまろにえ四季の里:鈴木崇・大森生澄、F-SOAIPの試行調査に参加した特別養護老人ホームのその後～介護支援専門員と記録システム担当者に聞く	2023.3

(3) 学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし				

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	ICT・IPWに資する生活支援記録法によるマイクロ～マクロの革新的好循環モデル構築	研究代表者	2022.4～2023.3

2	日本医療研究開発機構（AMED）：認知症対応型AI・IoTシステム研究推進事業（総務省）	BPSD予測・予防により介護負担を軽減する認知症対応型AI・IoTサービスの開発と実装	研究分担者（研究代表者：認知症介護研究・研修東京センター 山口晴保）	2021.4～2023.3
3	令和3年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業：政策科学推進研究事業）	F-SOAIPを用いた特別な支援の必要な保護者対応の記録システムの開発	研究分担者（研究代表者：名古屋市立大学大学院 上田敏丈）	2022.4～2023.3

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ケアサービス論（ケアと環境Ⅰ）	○	15	執筆したテキストを用い、利用者体験課題によるグループワーク、生活アセスメント等、双方向の講義となるよう工夫した。また、実践面や研究成果をふまえて講義に還元した。ソーシャルワーク教育学校連盟作成のDVDにも所収されている障害領域の理事長をゲストで招聘し公開授業とした。
2	IPW論（大学院）		4	初回や発表会、最終の振り返りの他、「地域共生社会時代にIPWの実践過程を可視化する生活支援記録法（F-SOAIP）～実践や研究でのデータ活用による変革を期待して～」を担当した。

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ケアサービス演習（ケアと環境Ⅱ）	○	15	実習Ⅰや進路支援にも有用となるよう工夫し、回想法によるプロセスレコード、介護予防による地域展開等のグループワークを展開した。
2	IPW演習(2開講)	○	15	科目責任者として、IPW論での学びをふまえて、IPW実習に活かせるよう工夫した。次年度の科目責任者と情報共有しながら運営にあたった。
3	ソーシャルワーク演習Ⅰ		15	科目責任者と協力し、オンラインと対面での授業を交互に実施し、学生の学びが今後の演習・実習・実践に活かせるよう、リフレクションに留意した。
4	ソーシャルワーク演習Ⅱ		15	3回ずつ4グループを担当した。現任者に求められながら養成課程ではテキスト類も十分でない経過記録としてF-SOAIPを教授し、授業資料の一部を公開した。
5	社会福祉専門演習Ⅲ		15	卒業研究を進める過程において、ソーシャルワーク演習や社会調査の学びを活用しながら、学生（2名）を指導した。
6	社会福祉専門演習Ⅳ		15	卒業研究の論文執筆・プレゼンを通じ、ソーシャルワーク演習や卒業後に役立てられるよう、学生（2名）を指導した。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		15	コロナ禍での実習後の学生を科目責任者らと協力して、グループワークや実習報告会、実習報告書の指導を行った。
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	○	15	新カリキュラムとして、サブの科目責任者や実習Ⅰの科目責任者および新カリ科目責任者会と協力して、学外実習を考慮し、施設配属や実習課題やレポートの指導を行った。
3	ソーシャルワーク実習Ⅰ		2023.2～2023.3 （一部学内実習を含む）	一部学内実習（オンライン）にて、科目責任者らと共に多様な体験をプログラムとして実施。学外実習では新カリにて変更した実習を実現できるよう留意した。実習指導者と連携を密にし、実習Ⅱのプログラム等も検討した。
4	IPW実習①		2023.8	4大学の学生を対象とし、実習指導者と連携しながら、オンラインでも、利用者や家族や専門職とのインタビューを通じ、高い目標を達成できるよう務めた。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2022.4～2023.3	主指導	2名	副指導 非該当

(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	国際医療福祉大学大学院 共通科目「医療福祉面接記録法」（非常勤講師）	2022.5～2022.7 全4日間、8コマ	国際医療福祉大学大学院 公開講座 乃木坂スクールの講座「DX時代の効果的・効率的な経過記録法～F-SOAIPの基礎と応用～」を兼ねた授業で、受講者が自立的にF-SOAIP研修講師を担えることを目標とした。	
2	国際医療福祉大学大学院 共通科目「質的研究法各論」（非常勤講師）	2022.9-2023.1 5コマ	質的研究法としてのF-SOAIPについて、オムニバスとして4回分の授業を担当した。うち1回分は、F-SOAIPを質的研究法として実施した研究者・実践者を3名招聘した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	国際医療福祉大学大学院 公開講座 乃木坂スクール	国際医療福祉大学大学院	「DX時代の効果的・効率的な経過記録法～生活支援記録法（F-SOAIP）の基礎と応用～」全4回	2022.5～7
2	令和4年度 東京都精神保健福祉研修 相談援助力アップ研修	東京都立中部総合精神保健福祉センター	「相談援助における経過記録と多職種連携にイノベーションをもたらすF-SOAIP（エフソ・アイピー：生活支援記録法）～多様な効果の好循環を目指して～」	2022.7
3	品川区・品川区介護支援専門員連絡協議会 共催 F-SOAIP研修会	品川区	「IPWを促進する記録方法（F-SOAIP）～社会実装による変革を期待して～」を2回シリーズで全4回開催	2022.9～11
4	令和4年度相談支援コーディネーター養成研修【基礎編】	栃木県社会福祉協議会	重層的支援体制事業における多機関・多職種の実践過程を促進するリフレクションとF-SOAIPを中心に	2022.10
5	令和4年度武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会「ケアマネジャー研修」	武蔵野市	「実践の見える化と支援の根拠に資するF-SOAIP（生活支援法）～武蔵野市からイノベーションを～」2回開催	2022.10～12
6	令和4年度豊田市社会福祉協議会 包括支援センター事業職員研修	豊田市社会福祉協議会	「F-SOAIPを学ぼう！～根拠ある実践の可視化でイノベーションを～」2回開催	2022.11～12
7	朝霞地区4市（朝霞市・志木市・和光市・新座市）及び朝霞地区医師会地域包括ケア支援室、在宅医療・介護連携推進に資する合同研修会	朝霞市・志木市・和光市・新座市	「医療・福祉の質が高まる生活支援記録法（F-SOAIP）研修会 ～自立的に個人や事業所・地域・自治体で継続するために～」2回開催	2022.11～2023.1
8	主任介護支援専門員等を対象	愛知県シルバーサービス振興会	「生活支援記録法(F-SOAIP:エフ・ソ・アイピー)の理解と実践研修会 記録のイノベーション：読む記録から見る記録へ」	2023.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本介護福祉学会	査読委員		2022.4～2023.3
2	とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会	企画委員		2022.4～2023.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	シルバー新報	監修) 嵩末憲子・小嶋章吾、特集 介護にスタンダードを ・元厚生労働大臣 田村憲久 衆議院議員に聞く、記録 F-SOAIPへの期待～「記録法」統一するメリット共有を国・自治体・現場一体となって～ ・品川区高齢者福祉課ご担当者へのインタビュー、記録～動き出した自治体～区を挙げて「統一化、推進すべしは地域包括ケアの質向上のために～ ・F-SOAIP(エフソ・アイピー)で記録にイノベーション！～記録はあらゆる課題解消への一歩介護システム搭載に声を		2022.9.30
2	放送大学BS531、ラジオ放送（放送大学教育振興会）	科目『高齢期の生活変動と社会的方策』の第2回「高齢期における心身の変化と対応－自助・互助を中心に」		3回/年

3	放送大学BS531、ラジオ放送（放送大学教育振興会）	科目『高齢期の生活変動と社会的方策』の第10回「要介護高齢者の生活支援－介護保険のサービス体系と展開、介護保険の利用とサービス体系」	3回／年
4	放送大学BS531、ラジオ放送（放送大学教育振興会）	科目『高齢期の生活変動と社会的方策』の第11回「要介護高齢者の生活支援－認知症と看取りを中心に」	3回／年

(4) その他

	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	栃木県栃木市	行政を対象とした「福祉相談支援システム」（F-SOAIP搭載）を導入する自治体の支援	2023.1～2023.3
2	地域貢献活動	東京都品川区	F-SOAIPの定着による専門職の質向上・評価、メゾ・マクロ展開についてアドバイザーとして支援	2022.7～2023.3
3	地域貢献活動	東京都足立区	F-SOAIP研修後の導入とICT支援	2023.2～2023.3
4	地域貢献活動	大分県の介護老人保健施設	学習療法の実施施設によるF-SOAIP導入の効果等についての検討	2022.11～2023.3
5	産業支援	守秘義務のため公表不可 医療・福祉のシステムベンダー数社	F-SOAIPのICT化支援	2021.9～2023.3

5. 学内運営

	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	IPW総合課程にて「IPWにおけるF-SOAIP」「IPW実践の検討」を担当	2022.9～11
2	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携推進部会員	2022.4～2023.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	奨励研究部会員	2023.1～2023.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	保健医療福祉科目担当者会より、教務運営部会と兼務	2022.4～2023.3
5	全学的委員会及びセンター業務等	ヒューマンケア実習室調整を担当	2022.4～2023.3
6	大学広報活動	夢ナビ動画（作成は2020）をHPにアップ	2023.2
7	学科等における委員会等	四大学連携事業への参画	2022.4～2023.3
8	学生支援	3年次生学年担当、社会福祉専門演習Ⅱ～Ⅳ調整、実習前後の学生面談など	2022.4～2023.3
9	学科等における委員会等	社福カリキュラム検討ワーキングへの参画	2022.4～2023.3
10	学科等における委員会等	社会福祉士実習指導者講習会：スパービジョンの演習担当	2022.7
11	学科等における委員会等	社会福祉士実習説明会を開催した	2022.9
12	学科等における委員会等	社福新カリキュラム科目責任担当者会に参画し、新カリキュラムの準備に従事した	2022.4～2023.3

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）

	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		

7. 特許の取得

	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		

8. 特記事項

1	日本医療研究開発機構（AMED）：認知症対応型AI・IoTシステム研究推進事業の研究成果は、認知症介護情報ネットワーク（認知症介護研究・研修センター）にて、社会実装に向けてDeCaAI（認知症ケア補助AIシステム）の概要説明等が公表された。 https://www.dcnnet.gr.jp/pdf/journal/decaai_en_20230104.pdf 、Abstract of the DeCaAI（Dementia care-assist AI） https://www.dcnnet.gr.jp/pdf/journal/decaai_en_20230104.pdf		
---	---	--	--